

令和5年度第1回危険物取扱者試験

◆試験日・試験会場

試験日	試験地	試験会場	試験の種類	集合時間・試験開始		複数受験
6月4日（日）	館山市	県立館山総合高等学校	甲種 乙種全類 丙種	(集合時間) 9時30分 (試験開始) 10時00分		2種類 または 3種類 (乙種第4類除く)
	※A 木更津市	かずさアカデミアホール	乙種第4類	①	(集合時間) 9時00分 (試験開始) 9時30分	
				②	(集合時間) 12時30分 (試験開始) 13時00分	
				③	(集合時間) 15時30分 (試験開始) 16時00分	
6月11日（日）	※B 千葉市	千葉経済大学・短期大学部	甲種 乙種全類 丙種	午前	(集合時間) 9時00分 (試験開始) 9時30分	2種類 または 3種類 (乙種第4類除く)
			乙種第4類	午後	(集合時間) 13時00分 (試験開始) 13時30分	
	銚子市	千葉科学大学	甲種 乙種全類 丙種	(集合時間) 9時30分 (試験開始) 10時00分		2種類 または 3種類 (乙種第4類除く)
	勝浦市	国際武道大学				

※A 受験者数により③試験開始 16時00分の場合も有り。

※B 乙種第4類の試験時間は受験票での確認となりますので、どの時間指定を受けても良い状態で出願してください。

◆願書申請期間

電子申請	受付期間	受付時間
	3月31日（金） ～ 4月14日（金）	24時間対応 締切日は17時00分まで

電子申請の受付は、受付開始日の9時00分から受付締切日の17時00分まで、受付期間中は24時間対応となります。

書面申請	受付期間	受付時間
	4月3日（月） ～ 4月17日（月）	9時00分～16時30分 (土・日を除く)

受験願書は、受付期間中に（一財）消防試験研究センター千葉県支部に直接持参又は郵送（特定記録郵便・締切日の消印有効）してください。

願書受付は定員に達した場合、受付期間内でも早く締め切る場合がありますのでご了承ください。
その場合はホームページに掲載いたします。

試験会場案内図

(各試験会場の学校等には電話照会をしないでください。)

千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部

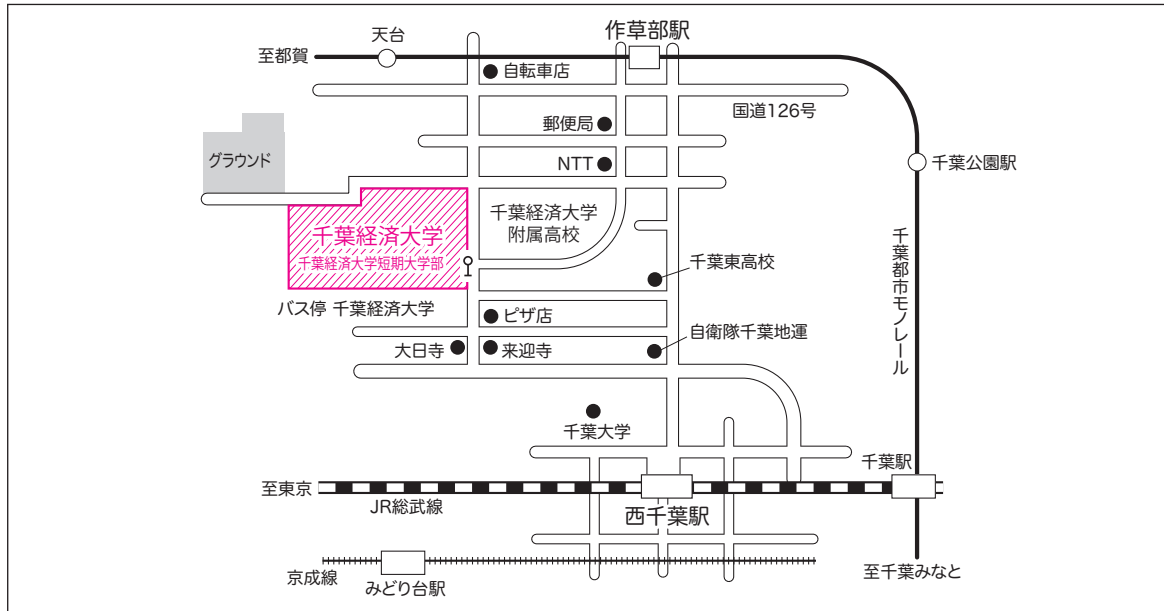
駐車禁止

千葉市稲毛区轟町3-59-5

JR総武線「西千葉」駅下車 徒歩13分

千葉都市モノレール「作草部」駅下車 徒歩5分

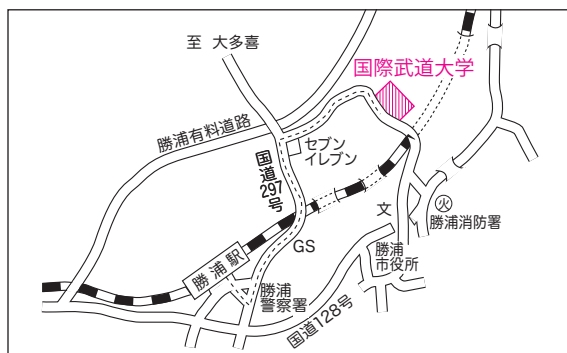
JR総武線「西千葉」駅より ちばシティバス「千葉経済大学」下車 (4番乗り場 轟循環線)



国際武道大学

駐車禁止

勝浦市新官841番地



千葉科学大学

駐車禁止

銚子市潮見町3番地



かずさアカデミアホール

駐車場有

木更津市かずさ鎌足2-3-9

JR木更津駅より路線バス約25分、タクシー約15分



県立館山総合高等学校

駐車禁止・スリッパ必携(土足厳禁)

館山市北条106番地 (館山駅から1.5km 徒歩25分)



試験会場はすべて禁煙です

令和 5 年度 危険物取扱者試験 試験案内

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

お 問 い 合 わ せ

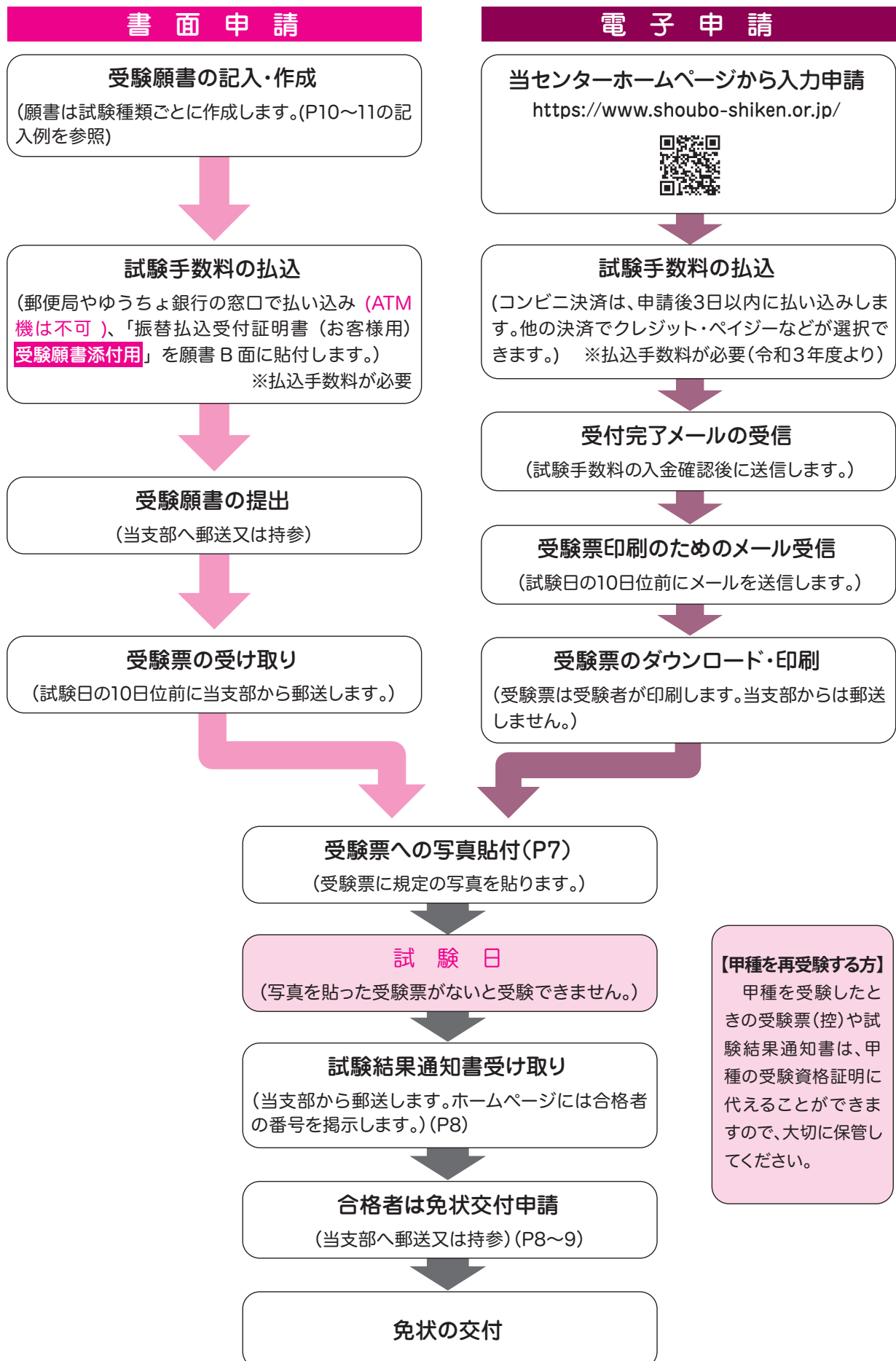
受験申請に関するお問い合わせ先は次のとおりです。

書面申請／ 043-268-0381 電子申請／ 0570-07-1000（有料）

【受付時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分（土日祝日、年末年始を除く。）】

一般財団法人消防試験研究センター
千葉県支部

受験手続きから合格後の免状交付申請手続きまでの流れ



消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 13 条の 5 第 1 項の規定により千葉県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1 試験種類別の試験科目、問題数及び試験時間

種 類	試 験 科 目	問題数	合計	試験時間
甲 種	① 危険物に関する法令	15 問	45 問	2 時 間 30 分
	② 物理学及び化学	10 問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	20 問		
乙 種	① 危険物に関する法令	15 問	35 問	2 時 間 00 分
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学	10 問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	10 問		
丙 種	① 危険物に関する法令	10 問	25 問	1 時 間 15 分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識	5 問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	10 問		

2 試験の種類

危険物取扱者試験は、危険物の取扱い作業の保安に関して必要な知識及び技能について行います。

試験の種類		取 り 扱 う こ と が で き る 危 険 物 の 品 名
甲 種		すべての種類の危険物
乙 種	第 1 類	1 塩素酸塩類 2 過塩素酸塩類 3 無機過酸化物 4 亜塩素酸塩類 5 臭素酸塩類 6 硝酸塩類 7 よう素酸塩類 8 過マンガン酸塩類 9 重クロム酸塩類 10 その他のもので政令で定めるもの 11 前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 2 類	1 硫化りん 2 赤りん 3 硫黄 4 鉄粉 5 金属粉 6 マグネシウム 7 その他のもので政令で定めるもの 8 前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの 9 引火性固体
	第 3 類	1 カリウム 2 ナトリウム 3 アルキルアルミニウム 4 アルキルリチウム 5 黄りん 6 アルカリ金属（カリウム及びナトリウムを除く）及びアルカリ土類金属 7 有機金属化合物（アルキルアルミニウム及びアルキルリチウムを除く） 8 金属の水素化物 9 金属のりん化物 10 カルシウム又はアルミニウムの炭化物 11 その他のもので政令で定めるもの 12 前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 4 類	1 特殊引火物 2 第 1 石油類 3 アルコール類 4 第 2 石油類 5 第 3 石油類 6 第 4 石油類 7 動植物油類
	第 5 類	1 有機過酸化物 2 硝酸エステル類 3 ニトロ化合物 4 ニトロソ化合物 5 アゾ化合物 6 ジアゾ化合物 7 ヒドラジンの誘導体 8 その他のもので政令で定めるもの 9 前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 6 類	1 過塩素酸 2 過酸化水素 3 硝酸 4 その他のもので政令で定めるもの 5 前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
丙 種		ガソリン、灯油、軽油、第 3 石油類（重油、潤滑油及び引火点 130℃以上のものに限る）、 第 4 石油類及び動植物油類

甲種及び乙種危険物取扱者は、自分自身で危険物の取扱いができるとともに、自分が立ち会うことによって、他の人に危険物を取扱わせることができます。丙種危険物取扱者は、特定の危険物（ガソリン、灯油等）に限り自分自身で取扱うことができます。

3 甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

部分はコピー

対 象 者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証 明 書 類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（P12 参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・ 中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、 職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書 (学科等の名称が明記されているもの)
〔2〕 大学等において化学に関する授業科目を 15 単位以上修得した方（P12 ～ 14 参照）	大学、短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に入る）、大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学、水産大学校、 海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15 単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 (修得単位が明記されているもの)
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が 2 年以上の方	実務 2 年	乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱実務経験証明書(願書 2 枚目裏)
	次の 4 種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ① 第 3 類(必須) ② 第 5 類(必須) ③ 第 1 類又は第 6 類のどちらか 1 つ ④ 第 2 類又は第 4 類のどちらか 1 つ	4 種類	乙種危険物取扱者免状
〔4〕 修士・博士の学位を有する方（P12 参照）	学校教育法第 104 条の規定により修士又は博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む）	学 位	学位授与証明書等、 学位記、修了証書 又は修了証明書 (学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

〔備考〕

- 〔1〕の大学において化学の学科等を卒業した方で 12 ページの学科の記載があれば、大学の卒業証書コピーまたは卒業証明書の提出をしてください。(大学院の学位記等でなくてもよい。)
- 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が 2 年以上のものに限ります。
- 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限 2 年以上、総授業時数 1700 時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の (1) 又は (2) の内容が掲載されている場合は、次の (1) 又は (2) の書面は不要です)
(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
(2) 専修学校の専門課程の修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が 1700 時間以上であることを証明する書面 (14 ページの書式例 1 を参照してください。)
- 〔2〕の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
複数の大学において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- 〔2〕の「単位修得証明書」は、14 ページの書式例 2 を参照してください。
- 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書の B 面裏の様式を使用してください。
- 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 過去のいずれかの支部で甲種の試験を受験した時の受験票（電子申請の場合は受験票（控））又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。（コピー可）
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

4 乙種危険物取扱試験

(1) 受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

(2) 試験科目の一部免除

乙種危険物取扱者試験における試験科目の一部免除については、下表のとおりです。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間	証明書類
乙種免状の 所持者	全 類	① 法 令	全部免除	0 問	10 問	35 分	免状のコピー
		② 物理化学	全部免除	0 問			
		③ 性質消火	—	10 問			
火薬類免状の 所持者	第 1 類 第 5 類	① 法 令	—	15 問	24 問	1 時間 30 分	免状のコピー
		② 物理化学	一部免除	4 問			
		③ 性質消火	一部免除	5 問			
乙種免状と 火薬類免状 所持者	第 1 類 第 5 類	① 法 令	全部免除	0 問	5 問	35 分	免状のコピー
		② 物理化学	全部免除	0 問			
		③ 性質消火	一部免除	5 問			

〔備考〕火薬類免状は、次の免状を意味します。

◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

◇甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

5 丙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

(2) 試験科目の一部免除

丙種危険物取扱者における試験科目の一部免除については、下表のとおりです。

免 除 資 格 者	試 験 科 目	免 除 内 容	問 題 数	合 計	試 験 時 間
5 年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第 51 条第 4 項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	危険物に関する法令	なし	10 問	20 問	1 時間 00 分
	燃焼及び消火に関する基礎知識	全問免除	0 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	なし	10 問		
証 明 書 類 (2 種類必要)	① 消防団員歴を証明する書類の原本（消防団長等が証明するもの） ② 消防学校の教育修了証の写し（消防学校長が証明するもの）				

6 試験の方法

(1) マークシートを使う筆記試験です。

(2) 甲種・乙種試験については 5 肢択一式、丙種試験は 4 肢択一式です。

7 複数受験・併願受験

① 同一会場の場合（複数受験）

乙種危険物取扱者免状を有する方に限り、他の乙種（乙種第 4 類を除く）を各会場とも 3 種類まで受験することができます。

② 異なる試験日の場合（併願受験）及び試験時間が異なる場合

試験日又は試験時間が異なれば、それぞれの試験日・時間に受験することができます。

◎受験願書は、試験日・受験種類ごとにそれぞれ 1 枚ずつ作成し、同一封筒で申請してください。

8 書面申請に必要な書類等

(1) 危険物取扱者受験願書 (A4版 2枚複写)

配布場所 ・ 県内各消防局、消防本部（予防課）
・ 各地域振興事務所
・ (一財) 消防試験研究センター千葉県支部

(2) 振替払込受付証明書（お客さま用） **受験願書添付用**（郵便局の受付局日附印のあるもの） （6、11 ページを参照してください。）

※ 乙種を複数受験される方は、それぞれの乙種の受験料が必要です。
なお、振込みの際には払込手数料が必要です。

(3) その他必要書類

甲種の受験者	受験資格を証明する書類（P 3. 3）
乙種の試験科目免除を受ける受験者	証明する免状のコピー（P 4. 4 (2)）
丙種の試験科目免除を受ける受験者	証明する書類のコピー（P 4. 5 (2)）
既に危険物取扱者免状を取得している方	危険物取扱者免状のコピー（表・裏）

◎ 既に丙種の免状を取得している方も免状のコピー（表・裏）を貼付してください。

9 電子申請に必要な書類等

電子申請については、手続きされる際に、必ず（一財）消防試験研究センターのホームページでの説明をご覧ください。

なお、電子申請を予定されている団体の担当の方は、事前に千葉県支部にご連絡くださるようお願いいたします。

（一財）消防試験研究センターホームページ（<https://www.shoubo-shiken.or.jp>）

10 試験手数料及び納付方法

(1) 試験手数料

試験手数料（非課税）は次表のとおりです。

甲種	乙種	丙種
6,600 円	4,600 円	3,700 円

(2) 電子申請の場合

払込方法は、次の決済方法から選択できます。

ア ペイジー（Pay - easy）決済 ※情報リンク方式、オンライン方式

イ コンビニエンスストア決済（セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート）

ウ クレジットカード決済（VISA、マスターカード、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース）

※ 一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て SMBC ファイナンスサービス株式会社に業務委託しております。

(3) 書面申請の場合

- ア 受験願書に同封の「払込取扱票」の金額欄に受験する試験に応じた試験手数料をご記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください（ATM 機では払込まないでください。払込取扱票の「振替払込受付証明書（お客様用）**受験願書添付用**」に日附印が押印されていないと受験申請できません。また、千葉県支部窓口での払込みはできません。）。なお、払込手数料は申請者の負担となります。
- イ 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「振替払込受付証明書（お客様用）**受験願書添付用**」を受験願書 B 面（表）の指定の欄に貼り付けてください（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合の申請は無効です。改めて「振替払込受付証明書（お客様用）**受験願書添付用**」を提出していただく必要があります。）。ウ 事業所等で、同時に多数の受験者がある場合は、受験料を一括して振り込んでも差し支えありません。
- その場合は、受験願書手数料欄に、最初の受験者に総額の「振替払込受付証明書（お客様用）**受験願書添付用**」を貼り、その他の願書には事業者等の名称と整理番号を記載し、併せて名簿の提出をしてください。

【払込取扱票】（必ず当センター指定の払込取扱票を使用してください。）

この部分では受験申請できません。
受験者本人控えになりますので、大切に保管してください。

この赤枠部分「振替払込受付証明書（お客様用）」を受験願書 B 面（表）に貼り付けてください。

払込金額を記入してください。

【危険物取扱者】
甲種・・・¥6,600
乙種・・・¥4,600
丙種・・・¥3,700
※ 金額を訂正したものは無効

必ず郵便局の日附印を確認してください。
※日附印がないものは無効

11 受験票について

電子申請	試験日の10日位前までに、申請時に入力された電子メールアドレス宛に「受験票印刷可能メール」を送信します。受験者本人がダウンロードして受験票を印刷してください。なお、 印刷する際は拡大、縮小をしない でください。
書面申請	試験日の10日位前までに郵送します。 受験票が試験日の5日位前までに届かない場合は、当支部へご連絡ください。

※試験の種類、科目免除に誤りがある場合

試験日直前の水曜日の17時までに当支部へ連絡してください。

受験票に記載されている内容は必ず事前にご確認ください。

試験当日の申し出にはいかなる場合にも応じられません。

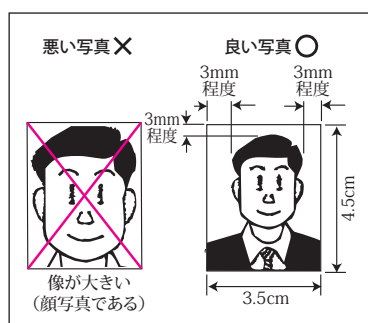
12 試験当日に必要なもの 電子申請・書面申請共通

(1) 写真 1枚

下記に示す写真(縦4.5cm×横3.5cm)又はパスポート規格の大きさとし、裏面に「撮影年月日、氏名、年齢、受験する種類」を記入してください。受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、**試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。**

セロハンテープは使用しないでください。

不適切写真の場合、再提出を求める場合があります。



写真

- 1 カラー、白黒のどちらでも可(受験日前6か月以内に撮影された鮮明なもの)
- 2 無帽(申請者が宗教上又は医療上の理由により顔の輪郭を識別することができる範囲内において頭部を布等で覆う者である場合を除く。)、無背景、申請者本人のみが撮影され、正面上三分身像のもの
- 3 背景と頭髪の色が同系色でなく影がないもの
- 4 枠なしで、左記図の各寸法を満たしたもの
- 5 デジタルカメラで撮影された場合、ドット(網状の点)やにじみ等のない、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。
- 6 不適切写真例
表面にキズのある写真、サングラスやマスク着用、眼鏡フレームや眼鏡レンズの照明による反射、頭髪が目にかかっている、写真のコピー等は適合しません。

(2) 受験票

ア **受験票を持参しなければ受験できません。**

イ **受験票に前12(1)の写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合は受験できません。**

ウ 受験票の氏名欄は受験者の氏名をかい書で記入してください。

13 その他の注意事項

- (1) 試験会場が高等学校の場合、必ず上履きを持参してください。(試験会場は受験票に記載されています。外履きを入れるビニール袋等は各自持参してください。)
- (2) 試験当日は、**受験票(写真の貼ってあるもの)**、鉛筆又はシャープペンシル(HB又はBのもの)、消しゴムを必ず持参してください。
鉛筆又はシャープペンシル以外のものを使用してマークした場合、採点機で読み取れず0点となる場合がありますので、使用しないでください。
- (3) 電卓、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。
試験中にこれらの機器を使用すると不正行為になります。
また、アラーム設定をしている方も設定を解除してください。
- (4) 試験会場はすべて禁煙・駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。

- (5) 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは一切関係ありませんのでご注意ください。
- (6) カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

14 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験はいずれも、試験科目ごとの正答がそれぞれ 60%以上必要です。(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く)。

なお、乙種第 1 類又は第 5 類の受験者で、火薬類免状による試験科目の一部免除を受けた場合は、免除されていない問題数で上記の基準を満たした方が合格となります。

【例示】(性質消火の場合)

	問題数	備考
甲種受験者の場合 (すべて免除科目なし)	20 問	正答 12 問で正答率 60%達成
免除科目なしの乙種受験者と乙種既得免状あり受験者の場合	10 問	正答 6 問で正答率 60%達成
火薬類免状による試験科目の一部免除を受ける場合	5 問	正答 3 問で正答率 60%達成

15 試験結果の発表

- (1) 合格発表の日付は、試験当日会場でお知らせいたします。
- (2) 合否の結果は、受験者全員に郵便で直接通知いたします。
 なお、試験結果の合否に関する電話での問い合わせ、試験問題等及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (3) 千葉県庁、千葉県の各地域振興事務所及び (一財) 消防試験研究センター千葉県支部 1 階の掲示板に公示いたします。
- (4) 合格発表は、(一財) 消防試験研究センターのホームページにも発表日当日の正午から掲載します。
 (モバイルサイトには掲載されません。)

16 免状交付申請の手続き及び注意事項

合格者は、(一財) 消防試験研究センター千葉県支部あてに免状の交付申請を次により行ってください。

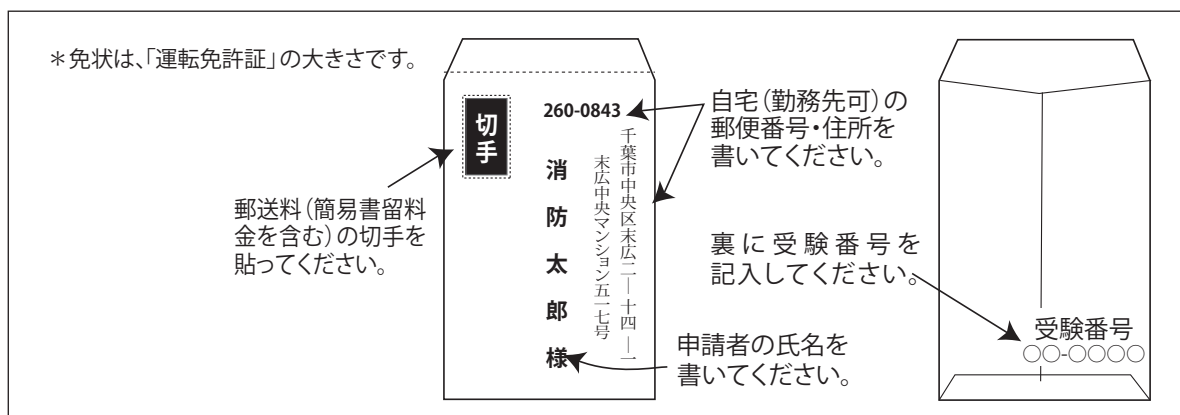
- (1) 試験結果通知書のうち「危険物取扱者免状交付申請書」に氏名等を記入し、同申請書裏面の手数料欄に「千葉県収入証紙」2,900 円分を貼って「危険物取扱者試験結果通知書」と一緒に (一財) 消防試験研究センター千葉県支部あてに郵送または持参してください。
 なお、「危険物取扱者試験結果通知書」は返却しません。
 必要な方は、コピーをお取りください。
- ◎ 郵送の場合は簡易書留で郵送してください。

千葉県収入証紙 ○各地域振興事務所 ○市役所・町村役場 ○交通安全協会(警察署内)
 詳しくは、千葉県ホームページ収入証紙購入場所
<http://www.pref.chiba.lg.jp/suitou/shoushi/index.html> をご覧ください。

- (2) 既に他の類の危険物取扱者免状を所有されている方は、免状交付申請時、所有されている免状を提出してください。
 なお、危険物取扱者免状の紛失又は氏名、本籍の変更等があった場合、免状の再交付又は書換えが必要となります。
- ア 既に交付されている免状 (既得免状) は、申請書に添えて提出してください。
- ・ 既得免状について
 免状を常時携帯しなければならない方は、当該免状コピー (表と裏) で提出してください。
 この場合、新しい免状の交付は既得免状と引換えになりますので、窓口交付のみとなります。
 よって、下記 (4) の免状返送用封筒は不要です。

- イ 氏名、本籍等の免状の記載事項に変更があった場合は、交付申請と同時に書換え申請を行ってください。
- ウ 以前に免状を取得されている方は、既得免状と同一の種類の免状の交付を重ねて受けることができません。
- (3) 交付日に直接免状の交付を受けようとする方は、印鑑持参のうえ、(一財)消防試験研究センター千葉県支部までお越しください。その際、受験番号をお聞きいたしますので、控えて来てください。交付の日時は、平日月曜日から金曜日(土曜日・日曜日・祝日を除く)の9時00分から16時30分までです。
- (4) 郵送により免状の交付を受けようとする方は、免状交付申請の際に、郵送料(簡易書留郵便料金を含む)の404円分の切手を貼付した返送用封筒(定形サイズ:長さ14cm～23.5cm 幅9cm～12cm)に、自分宛ての住所・氏名を明記し、裏面には受験番号を必ず記入して同封してください。
(封筒作成例は下記参照)
なお、複数受験で2種類以上合格した方は、返信用封筒は1枚で、裏面に「複数受験」と書き、それぞれの受験番号を必ず記入してください。
- (5) 事業所等で一括して交付を受けようとする場合は、電話でご相談ください
- (6) 免状交付日については、試験結果通知書に記載いたします。**
- (7) 免状申請の手続きの注意事項
- ア 千葉県で併願等で同じ種類、上位種類を合格された方、及び他県で同類・上位種類・他の種類を合格されている方は、申請するときに必ず(一財)消防試験研究センター千葉県支部にお知らせください。
- ※なお、千葉県収入証紙が入手できない場合は現金でも受付けますので、現金(おつりのないよう)と上記書類のすべてを現金封筒に入れ、現金書留として送ってください。
- イ 免状に旧姓併記を希望の場合は、事前に申請する千葉県支部にお問い合わせください。

免状返送用封筒の作成例



願書受付・問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター 千葉県支部

〒260-0843 千葉市中央区末広2-14-1 ワクボビル3階
TEL 043-268-0381 FAX 043-268-0382

危険物取扱者試験受験願書〔記入例〕

- ◎ 願書は必ず受験者本人がご記入ください。
- ◎ 書き損じた場合は、横2本線を引いてその上方に正しくお書きください。

A 面

左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

「千葉県」と記入してください。

申請する日を記入してください。

外国人の方は、「外国籍」と記入すること。

受験願書裏面の「都道府県コード」を記入すること。

日中連絡がとれる番号を記入してください。

3か月以内に他の都道府県で受験した場合は記入すること。

主となるものに○をつけること。

既得免状のある方は、必ず記入してください。

甲種受験者はP.3の「記入略称」により記入してください。

火薬類免状を有する方で「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーを貼付してください。

2種類以上の受験者はそれぞれの願書に他の種類を記入すること。

既得免状（既に交付を受けている免状）のある方は全て記入してください。

書類に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。（携帯電話アドレス可）

なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。

危険物取扱者試験受験願書

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名 千葉県 申請日 00 年 00 月 00 日

申請者氏名 シロウシナ 氏 姓 消試 名 験三

生年月日 大正 46 年 10 月 04 日生 本籍 千葉 都道府県コード 12

郵便番号 260-0843 必ず記入してください 自宅電話番号 043-268-0381 又は携帯電話番号

住所 千葉県千葉市中央区末広 2-14-1 103 号室 勤務先名または学校名 ○○石油(株)

連絡先電話番号(携帯可) 043-456-7890 (内線 120)

試験日 令和 00 年 00 月 00 日

試験種類 甲種 乙種 丙種 第 1 種 第 2 種

受験地 千葉市

甲種受験資格 実務2年

科目免除 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) (受けない)

乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) (受けていない)

5年以上消防団員として勤務しかつ基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する) (該当しない)

同時に複数の試験を受ける者はこの願書以外に受ける種類を記入すること 甲種 乙種 丙種 第 1 種 第 2 種

免状取得の有無について記入してください 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2

元号コード 甲 乙 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 免状交付年月日 交付番号 入力番号 交付知事 コード

取得している危険物取扱者免状は全部記入してください

乙1 乙2 乙3 乙4 乙5 乙6 丙

※団体コード ※交付機関コード ※分科コード

(記入上の注意)

● 本用紙は、思惟のボールペンを使用し、かき書で記入してください。

● 枠は該当するものを記入してください。

● 免状番号は、免状右下に記載されている番号です。

● 既得免状のある方は、必ず記入してください。

(A面) 試験センター発行 431

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称								
ア イ エ オ	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科	
	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科	
	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科	
	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科	
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科	
	応用生物工学科		サ		材料開発工学科		生物機能工学科	物質分子学科
	応用生命科学科				材料科学科		生物工学科	物質理工学科
	応用生命工学科				材料科学工学科		生物資源科学科	プロセス工学科
	応用微生物工学科				材料加工学科		生物資源利用学科	分子工学科
	環境生命科学科				材料学科		生物生産科学科	分子システム工学科
カ	環境物質工学科	材料機能工学科	生物分子科学科	分子生物学科				
	環境マテリアル学科	材料工学科	生物薬学科	分子生命科学科				
	キ	基礎理学科	材料物性学科	精密素材工学科	分子素材工学科			
		機能高分子学科	材料物性工学科	精密物質学科	マ	マテリアル科学科		
機能高分子工学科		材料プロセス工学科	生命理学科	マテリアル工学科				
機能材料工学科		シ	色染工芸学科	製薬学科	ム	無機材料工学科		
機能物質科学科			資源工学科	繊維工学科		ヤ	冶金学科	
機能分子工学科			資源素材工学科	繊維高分子工学科			冶金工学科	
金属加工学科			システム量子工学科	ソ	総合薬学科	薬科学科		
金属学科			食品科学科		総合薬品科学科	薬学科		
金属工学科		食品学科	素材工学科	薬剤学科				
金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科	薬品科学科			
金属材料工学科	食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ ヨ リ	有機材料工学科			
ケ	原子工学科	食料科学科	醗酵生産学科		窯業工学科			
	原子力科	森林資源科学科	フ		物質科学科	林産学科		
	原子力工学科	セ	物質化学工学科		林産工学科			
	原子炉工学科		物質工学科					

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称							
ア	アモルファス物性工学	エ オ カ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ キ	官能基変換論
	安全管理学		応化・プロセス工学		化工物理学		機器分析
	安全工学		回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
エ	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学	サ	材料解析	セ	生体分子工学	テ	電解反応
	金属材料工学		材料開発工学		生体分子反応		電気材料学
ケ	金属製錬学	シ	材料科学	ソ	製鉄製鋼耐火物	ト	電気電子材料科学
	金属組織学		材料加工学		生物機能開発学		電気電子材料学
ク	金属の相変態	ス	材料強度学	タ	生物機能工学	ニ	電極反応論
	金属表面処理		材料強度物性学		生物機能利用学		電子材料
コ	金属物性	セ	材料結晶学	チ	生物学	ネ	電子物性
	計算溶液特論		材料工学		生物資源科学		伝熱工学
カ	結晶回折	エ	材料構造解析学	テ	生物資源利用学	ハ	同位体地球科学
	結晶材料工学		材料精製工学		生物反応工学		毒劇物学
キ	結晶評価工学	オ	材料精密工学	ト	生物物性学	ニ	特殊機能セラミック
	原子エネルギー工学		材料組織学		生物分子科学		毒性学
ク	原子核工学	カ	材料組織形成論	チ	生物薬学	ネ	毒物学
	原子力工学		材料熱力学		精密材料物性		土壌学
ケ	原子炉材料学	キ	材料反応学	タ	精密素材工学	ハ	塗装学
	原子炉燃料		材料物性学		精密分離工学	ニ	塗料工業科学
コ	高温材料	ク	材料物理学	テ	精密有機合成特論		ニューセラミック学
	高温反応工学	ケ	材料プロセス設計		製薬学	ネ	燃焼学
カ	光学活性体合成論	コ	錯塩基及び酸化還元	ソ	生理活性物質学		燃焼工学
	高機能材料特論	サ	産業廃水処理		精錬漂白論	ハ	燃焼熱工学
キ	高機能材料プロセス特論	シ	色彩工学	タ	石油開発工学	ニ	燃焼物理科学
	工業火薬学		色染実験		石油生産工学		粘土工学
ク	工業材料	ス	システム安全工学	チ	接合学	ネ	燃料工学
	工業排水処理		焼結固体反応論		接着及び接着剤	ハ	燃料工業
ケ	工業爆薬学	セ	焼成材料	テ	接着学		燃料燃焼潤滑論
	工業反応速度論	エ	醸造学		セメント工学	ニ	燃料燃焼論
コ	工業微生物	オ	醸造工学	ト	セラミック科学		燃料分析学
	工業分析	カ	醸造工業概論		セラミック基盤材料	ノ	農薬学
カ	格子欠陥	キ	状態方程式特論	チ	セラミック工学		バイオテクノロジー
	公衆衛生学	ク	触媒工学		セラミック材料学	ハ	バイオプロセス工学
キ	高重合反応	ケ	触媒設計	タ	セラミック概論		培養工学
	合成鉱物	コ	触媒反応工学		セラミック材料工学	ニ	爆発工学
ク	抗生物質	サ	食品衛生学	テ	セラミック電子材料		薄膜材料工学
	厚生薬学	シ	食品栄養学		セラミックプロセッシング	ネ	醗酵学
ケ	合成薬品製造学	ス	食品科学	ト	セルロース科学		醗酵工学
	構造用金属材料	セ	食品工学	チ	繊維高分子工学	ハ	醗酵工業論
コ	酵素利用学	エ	食品工業微生物学		選鉱学		醗酵生産学
	鋼中非金属介在物	オ	食品分析学	テ	先端材料物性特論	ニ	パルプ学
カ	鉱物学	カ	植物分子生物学		相平衡論		パルプ工学
	高分子科学	キ	人工結晶	チ	相変態論	ネ	半導体工学
キ	高分子学	ク	人造繊維工学		素材工学		半導体材料
	高分子工学	ケ	新薬論	タ	耐火物概論	ハ	半導体デバイス工学
ク	高分子合成	コ	水質学		耐熱材料特論		反応工学
	高分子構造	サ	製剤学	テ	多結晶材料工学	ニ	反応性物質材料
コ	高分子固体構造論	シ	製剤工学		単位操作		反応操作
	高分子コロイド科学	ス	製紙科学	チ	単位反応学	ネ	反応速度論
カ	高分子材料学	セ	製紙学		単結晶材料工学		非金属材料
	高分子反応	エ	製紙工学	ト	蛋白質工学	ハ	非晶質科学
キ	高分子物性論	オ	製造薬学		超高温材料		微生物遺伝学
	固相変態論	カ	生体機能工学	チ	調剤学	ニ	微生物学
ク	固体反応	キ	生体機能電気科学		鉄鋼材料学		微生物機能学
	固体表面科学	ク	生体機能利用学	テ	鉄鋼表面処理	ネ	微生物工学
ケ	固体物性論	コ	生体工学		鉄冶金		非鉄材料学
	固体平衡論	サ	生体高分子学	ソ	定性分析	ハ	非平衡論
コ	コロイド学	シ	生体触媒学		定量分析		表面・界面工学
	細胞培養学	ス	生体光反応学	テ	電解製錬工学	ニ	表面工学

ヒ	表面分析 肥料学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学工学 木質資源工学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミックス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ヘ	平衡論 平衡・反応論	メ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ヨ	窯業工学 窯炉工学
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学	モ	有機機器分析 有機機能性材料	リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
		マ	膜機能工学 マテリアル工学	ヤ			
		ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ユ			

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

〇〇 年 月 日 入学

〇〇科〇〇コース

〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇

年 月 日 生

学校教育法第 124 条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号

〇〇 年 月 日 号

課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700 時間

上記のとおり証明する。

年 月 日

（専修学校の所在地）

〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇 印

書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇 年 月 日 入学

〇〇部 〇〇科

〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇

年 月 日 生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃 焼 工 学	3	反 応 速 度 論	2

上記のとおり証明する。

年 月 日

〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇 印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。 《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

注意

- ◆ 千葉県支部で実施する試験の願書以外は受付られません。
- ◆ 会場には定員があるため、受付期間中であっても早めに締切場合がありますのでご了承ください。
- ◆ 受付期間を過ぎてから提出された受験願書及び記載事項等に不備がある受験願書は受理できません。
この場合は受験申請書類を申請者負担で返却いたします。
- ◆ 書面申請は受付締切日以降、電子申請は申請の受付完了以降の、「試験日」・「試験の種類」等、**申請した内容の変更及び取消はできません。**
- ◆ 当センターで受理された受験申請書類等はお返しできません。
- ◆ 出願後、試験日程についてお電話にてご連絡をさせていただく場合があります。
願書には必ず日中連絡可能な電話番号の記入をお願いいたします。
- ◆ 新型コロナウイルスの影響や台風その他の事故等により、会場変更及び中止又は延期等が生じる可能性があります。その際は、当センター千葉県支部のホームページに掲載いたしますのでご確認ください。
特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに提示します。
- ◆ (一財) 消防試験研究センター千葉県支部は試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書の販売等は一切行っておりません。
- ◆ この試験案内は、受験申請から免状交付までの手続きが詳しく掲載されていますので、免状交付申請時まで大切に保管してください。

－個人情報の取り扱いについて－

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

(1) 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、顔写真、メールアドレス等です。

(2) 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、免状交付申請書、受験票への表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。